

道の駅まえばし赤城で 台湾フェアを開催

☎ 道の駅まえばし赤城 ☎027-233-0070

台湾夜市をテーマに、台湾本格グルメやスイーツを販売するほか、道の駅各店舗で台湾料理を販売。また、台湾文化を体験できる企画や本市とゆかりのある台南市の歴史を観光案内所で展示します。

☎ 7月5日(土)・6日(日)



山に囲まれた赤城大沼で カヌーをゆったり楽しんで

☎ 観光政策課 ☎027-257-0675

赤城大沼では自身のカヌーを使用できるほか、手ぶらでもガイド付きカヌーツアーを楽しめます。どちらも原則、事前予約が必要です。詳しくは前橋観光コンベンション協会ホームページをご覧ください。

☎ 10月31日(金)まで



日本の歌にチャレンジ カラオケで多文化交流

☎ 前橋カラオケワールドカップ実行委員会・佐藤さん ☎090-5824-1485

本市に在住する外国人との共生社会実現を目的に、まえばしカラオケワールドカップ with 世界のキッチンを開催。本市の日本語学校の留学生や働く外国人が日本の歌にチャレンジします。また、世界の食を楽しめるキッチンイベントも同時開催します。

☎ 6月8日(日)11時～16時

☎ 前橋中央イベント広場



夕方からの商店街を楽しむ 風街タやけマルシェ

☎ 風街タやけマルシェ実行委員会 ☎Info.kmym@gmail.com

市内外からさまざまな店が集まり、まちなかの店舗と一緒に夕方からのまちを盛り上げる、風街タやけマルシェのお披露目イベントを開催。食事やお酒、音楽、ワークショップなどを楽しみながら、夜に移ろいゆく時間を過ごしましょう。今後開催については二次元コードのホームページをご覧ください。

☎ 6月27日(金)16時～21時

☎ 中央通り商店街



アートに触れる あ一つひろば

☎ アーツ前橋 ☎027-230-1144

アーツ前橋でアートを鑑賞したり工作を楽しんだり、アーティストと一緒に制作する「あ一つひろば」を開催。今回は小惑星を制作します。制作した作品は、七夕まつり期間中に、アーツ前橋1階交流スペースに展示します。未就学児は保護者同伴です。

① ワークショップ「未発見の小惑星を観測しよう!」

☎ 6月21日(土)13時～16時

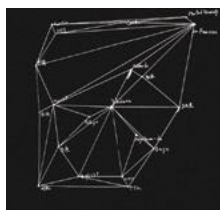
☎ 講師=アーティスト・金子未弥さん

② こどもアート探検

☎ 6月21日(土)14時～14時30分

☎ 講師=アーツナビゲーター

☎ 以上の2つは当日同館交流スペースへ直接



環境システム荻窪公園で ホタルとアジサイを鑑賞

☎ 公園管理事務所 ☎027-225-2116

ホタルと10種1万6,000株のアジサイを鑑賞できる「ホタル・あじさいフェア2025」を開催します。

☎ 6月30日(月)まで

● 関連イベント

① アジサイまつり

☎ 野菜即売会や抽選会を実施します。

☎ 6月15日(日)9時

☎ 産直味菜(荻窪町)

② スタンプラリーと八木節披露

☎ 6月15日(日)10時

☎ 環境システム荻窪公園



**前橋空襲と復興資料館開館記念
前橋歌舞伎舞踊公演**
☎ 文化国際課 ☎027・898・6992

今年は前橋空襲から80年という節目の年。前橋空襲の記憶を風化させないという市民の熱意により誕生した「前橋空襲と復興資料館」の開館を記念し、前橋歌舞伎舞踊公演を開催します。

本市に疎開し、終戦後に東京に戻った七世松本幸四郎さんは「自分の命が助かったのは前橋へ疎開したおかげだ。自分の芸を通して市民を元気づけたい、市の復興にいささかなりとも協力させていたきたい」と昭和20年8月5日の前橋空襲から約2カ月後の昭和20年10月、戦災前橋復興舞踊大会を発売し、開催。仮設舞台が設置された前橋公園には多くの市民が詰めかけました。当時の映像がアメリカ陸軍の記録に残され、その他の関係資料とともに前橋空襲と復興



市川 染五郎さん



松本 幸四郎さん

4月28日にオープニングセレモニーを実施。元あご歴史資料館 学芸員・原田恒弘さんと元ぐんまマチダ戦争と平和資料館 代表・町田錦一郎さんを名誉顧問に委嘱しました。



資料館内で展示されています。
当時披露された『長唄 橋弁慶』を今回は松本幸四郎さんと市川染五郎さんで上演するほか、当時の映像の解説と幸四郎さんと染五郎さんによるトークセッションを実施します。

☎ 7月27日(日)17時
☎ 昌賢学園まえばしホール
☎ 小学生以上
☎ 6,000円
☎ 同館(☎027・21・4321) かつ同館ホームページ



前橋文学館で さまざまな文学に触れて

☎ 前橋文学館 ☎027-235-8011

● 詩と言葉を体感して

前橋文学館で「第32回萩原朔太郎賞受賞者最果タヒ展 愛を囁くのは世界の方で、私たちはそれを二人で聞いている。ここで、二人で真珠になろう。」を開催。素顔や経歴、出身地も明かさずスマホで詩を書く最果タヒさんは、詩人という枠を超え小説やエッセイ、翻訳など多彩な才能を発揮しています。本展では、萩原朔太郎賞受賞作「恋と誤解された夕焼け」や、書き下ろしの新作を含む詩のインスタレーションで空間全体を埋め尽くします。なお、オープニングイベントとして6月7日(土)に高校生による朗読会を実施します。

☎ 6月7日(土)～9月21日(日)、9時～17時(最終入館は30分前まで。水曜休館)〈オープニングイベント〉6月7日(土)14時

☎ 700円(高校生以下、各種障害者手帳を持っている人とその介護者1人、6月7日(土)・7月11日(金)～13日(日)・9月6日(土)は無料)



● 凹凸写し取るワークショップ

前橋文学館では、前橋工科大学臼井研究室が主催する「おもい描く光画百年の前橋」展関連ワークショップとして、「おもいをなぞるフロッタージュ」を開催。凹凸のある物の表面に紙を置き、鉛筆で模様を写し取るフロッタージュを体験できます。

☎ 6月14日(土)13時30分・14時30分・15時30分

☎ 一般、先着各10人

☎ 200円

☎ 同館へ



● 戦争を描いた作品を舞台で

前橋文学館リーディングシアター Vol.26「イエスタデイ」を戦後80年の長崎原爆の日に開催。脚本家・清水邦夫が戦争をテーマに描いた作品です。

☎ 8月9日(土)14時

☎ 一般、先着100人

☎ 出演=鄭亜美さん、大竹直さん、同館特別館長・萩原朔美ほか

☎ 1,000円

☎ 6月14日(土)から同館へ

